下都賀地区生涯学習研究会機関紙
ねっとわーく
# Network
第 59 号
令和３年 12 月発行

会員の皆様にとって、令和３年は、どんな年でしたか？師走を迎え、「流行語」や「１０大ニュース」、「今年の漢字」など、１年を振り返る話題がメディアをとおして日々報じられています。コロナ禍で今年も気の休まる時は全くなかったかもしれませんが、せめて、年末年始のこの時期は、心と身体を休めながら、社会教育主事有資格者の視点で改めてこの１年を振り返り、新年の抱負を得たいものです。

今号も、会員の皆様から参考となる事例や情報、そして、社会教育主事有資格者としての「思い」をお寄せいただきました。紙上をとおして皆様とのつながりを強めていければ幸いです。

## 学校を応援したーい 19

### 子どもたちが見つめる理想の大人像

栃木市立吹上中学校　教頭　小柳　ひろみ

「親父の会」発足以来１４年間支え続けてくださる 熊倉 哲夫 さん。「親父の力、匠の力をもっと生かして！」と様々な活動が制限される中、駐輪場の大掛かりなペンキ塗りの奉仕活動に踏み切るきっかけになったのは、熊倉さんのその一言でした。

「吹上アシストネット地域教育協議会」会長として、多方面でご尽力くださる熊倉さんの活動の一つに、「見守りふくろう隊」があります。地域の子どもたちが安心して健やかに成長できるようにと、熊倉さんをはじめとする地域コーディネーターの皆さんの働きかけにより、昨年結成されました。

ある休日、「吹上地区まちづくり協議会」会長の 酒巻 幸夫 さん、「子どもロマン委員会」委員長の 小平 啓佑 さん、熊倉さんの３人の「見守りふくろう隊」に学校入口のグレーチングに滑り止めを施していただきました。雨天の度に転倒していた生徒を、その日以来見ていません。

子どもたちにとって、地域を愛し、誇りとする理想の大人像がそこにあります。

## 学校を応援したーい 20

### 渡良瀬遊水地でのふるさと学習

栃木市立藤岡第一中学校　教諭　長島　裕志

１年生の総合的な学習で、１０～１１月に渡良瀬遊水地にて藤岡二中と合同現地学習を行っています。渡良瀬遊水地はハート形の谷中湖で知られるラムサール条約登録湿地です。

渡良瀬遊水地ガイドクラブや渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団の方々に協力していただき、歴史（遊水地の成り立ちや 田中 正造 について）学習や野鳥・魚・植物の自然調査、ヨシズ編み等の体験をします。遊水地をガイドクラブの方と自分の足で歩くことで、地元の珍しい野鳥や植物に出会ったり歴史を感じたりすることができ、子どもからは感嘆の声が聞こえてきます。ヨシズ編みでは、遊水地のヨシを材料にして実際に作製します。ボランティアの方の手ほどきを受けてできたヨシズは、子どもたちの心に宝物として残ります。

地域の方々の協力で、子どもたちはふるさとを五感で味わうことができます。また、ふるさとが地域の方々と子どもたちをつなぎ、次の世代への架け橋となっています。